

2006年度 関東甲信越板金工業組合協議会青年部
第6回 部長会・幹事会合同協議会開催報告書

日 時 : 平成 18 年 10 月 29 日 (日 曜日)
PM 13 : 00 ~

場 所 : 板金会館 6F

1. 開会 の 辞 鹿川副部長 (進行)

2. 出 席 者

都・県	千葉	山梨	長野	茨城	神奈川
部長	(荻野)選手	曾根修平	坂井隆義	欠席	斉藤 (代理)
幹事	山田英夫	欠席	鹿川 宏	卜部勇一	大石孝司
都・県	栃木	東京	埼玉	新潟	群馬
部長	臼井 進	(森谷)選手	加藤史之	欠席	小川元宏
幹事	沼尾 明	大江一郎	戸井田彰	古市竜也	木村 治

3. 部 長 挨 拶 木村部長

無事研修会も終了し研修会の反省とともに、次回の競技会講習会について、また来期役員の人選そして再来年のあすなろ研究会が関東甲信越に廻ってくるという事でそのあたりも協議していきたいと思えます。部長幹事合同となりますが、本日よりよろしくおねがいたします。

4. 議事録作成人 戸井田副部長
議事録配信 鹿川副部長 (総務)

5. 連絡報告事項

①全板青年部関係 大江・戸井田幹事 (全板青年部役員)

青年部に関しては前回から特に動きは無い。全板連・日板協親組合理事会出席

11月1日親組合全板連理事会出席⇒戸井田

11月2日親組合日板協理事会出席⇒大江

②その他

特になし

6. 議 題

①研修会反省・決算報告

大石幹事より別紙にて報告・詳細説明あり。

特に反省としてはホテルが2ヶ所になってしまったという事。また旅行会社を介している為、赤字決算となってしまった。

反省点（部長幹事からの意見）

- ・ 休憩時間が長かった分だらけ気味になった。
- ・ 分科会については各都県のメンバーとコミュニケーションをとるという点では重要であると思う。
- ・ 担当県の負担が大きい研修会であるため担当県に対しては感謝の念は必要である。また赤字分は関東甲信越から支給できないものか？⇒地元行動費で支給。
- ・ 建長寺の見学に関しては大変意義があったと思う。
- ・ 飲食に関しては内容・量に関しては大変よかった。
- ・ 立地に関して大変よかった。
- ・ コンパニオンについては会場の内容に応じて考える必要あり。

②競技大会・予備講習会について

第二回目

日時： 1月14日（日）12：00～

会場： 板金会館 NIYC 6F・ZIC B1F

講師： ZIC 武井講師・NIYC 桑原講師

◎今後予備講習会に関しては2回開催するべきか？

- ・ 課題が9月に出题されるならば準備期間も長いほうが良いのではないか。
※問題点摘出⇒1回目 製作・作図（実践）⇒2回目
- ・ 開催時期にかんしては年間スケジュールに組み込む事により研修会と予備講習会とあわせて調整する（10月～11月）
- ・ 年会行事として開催（10月末あたり）⇒全会一致で審議可決
- ・ 第二回目の内容について⇒ZIC 武井講師・各自製作してもらい各部位のポイントを絞り、懇親会で参加者・講師と意見交換にて内容を決める。NIYC 桑原講師に一任する。
- ・ 設営協力スタッフ：大石幹事・山田幹事・木村部長・加藤部長

③来期役員について

- ・ 関東甲信越幹事

千葉	交代	神奈川	未定
山梨	留任	栃木	留任
長野	交代	埼玉	加藤 (交代)
東京	留任	新潟	未定
茨城	留任	群馬	留任

※ 来期部長について⇒木村部長は退任の意向を表明

- ・ 全板出向について

大江幹事⇒留任

戸井田⇒青年部卒業のため退任 埼玉 加藤部長に交代 (内定)。

④その他

- ・ 平成20年度全板青年部あすなろ研究会について。

関東甲信越ブロックとして取り組む。

開催候補地：茨城 (つくば市)・東京・神奈川⇒今後の検討課題。

- ・ 来年度会員大会について (栃木)

家族参加型のアウトドア系⇒会場ツインリンクもてぎの方向で検討

費用は1人25000円程度 オプションの設定により調整可

7. 次回幹事会予定

日 時 : 2006年 12月 9日 (土曜日)

AM・PM : ~

時間は後日連絡

8. 閉会の辞 鹿川副部長